

競技上の確認事項

※ 以下の事項の他は、現行の日本バスケットボール協会U12カテゴリー競技規則による。

1：試合形式について

6ブロックのトーナメント形式とし、予選は各小学校会場にて1回戦を行う。

- ① 審判、コミッショナーは帯同で行う。自チームのゲームについても実施する場合がある。
- ② TOは対戦チームから協力し合い行う。(内容は後に記述)
- ③ 各小学校に会場責任者を置き、会場責任者のチームから3名を会場係として置く。
会場責任者の業務
 - ・コロナ感染拡大防止のため消毒、清掃、密の防止に努める。
 - ・体育館利用者(チームスタッフ、消毒係も含む)の氏名、連絡先の把握と3か月間の保存。
 - ・試合時間、審判、TO、CO、の確認及び、試合前の選手登録証とコーチのライセンス確認。
 - ・コート設営、スコアシートやCOの旗などの試合に関する備品の確認。
 - ・試合球の確認(5号合成皮革、試合球を準備)
 - ・試合結果の報告(規定の様式にて、競技委員 田中へFAX 又はメール報告をお願いします)
FAX 025-272-9373 メール tanakou-asahi@docomo.ne.jp
- ④ 新型コロナウイルス等により不戦勝(不戦敗)が生じた場合は、スコアは20対0とし、速やかに会場から退出する(交流戦や会場での練習は行わない)

2：試合時間について

- ① 試合時間は現行の競技規則通りに行う。
- ② 今大会については各インターバルを2分間、ハーフタイムを10分間とする。
- ③ 延長戦については競技規則通りに行う。2分休憩後の3分の試合とし、第1延長で攻めるゴールは、自チームベンチ側とする。チームファールについては最終ピリオドの継続とする。
- ④ 試合開始時刻が遅れた場合は、ベンチ入れ替え時の選手同士による密を防止したうえで10分前にてタイマーをスタートし、時間経過後に試合開始とする。

3：チーム編成・ベンチについて

- ① チーム編成は、チーム関係者(コーチ1名 Aコーチ2名 マネージャー1名)と登録選手(8名以上15名以内)及び消毒・記録係5名の24名とし、それ以外の者は会場へは入れない。
- ② ベンチへ入れるものはチーム関係者と登録選手とし、消毒・記録係は試合中ベンチへは入らず、距離を取りながら各自の仕事を行う。消毒・記録係は試合運営に関わる立場であり、チーム応援はできない。
- ③ ベンチは、組み合わせ表の番号の若いチームがTO席に向かって右側とする。また、前半で攻めるゴールは相手チームのベンチ側とする。
- ④ 各チームのベンチエリアはセンターラインから3メートルの位置から自チームベンチのエンドラインとする。また、そのエリアで移動しながらコーチングできるのはJBA公認コーチのみとする。その他の者はベンチから立ち上がったの指示、応援はできない。
- ⑤ ベンチ内はマスクを着用し会話を控える。また、メガホンなどの応援用具の持ち込みは禁止する。うちわを使用しての応援も禁止する。
- ⑥ 記録のための録画場所については、当日の代表者会議にて指示をする。

4：ユニフォームについて

- ① 各チームは、濃淡2色のユニフォーム（上下同色）を用意する。
- ② 試合組み合わせ表番号の若いチームが淡色を着用することを原則とする。ただし、対戦チーム間で相談のうえ濃淡を交換してもよい。その際は審判や会場主任にも事前に報告をする。
- ③ 地区大会に限りTシャツを着用する場合はユニフォームと同色とし、着用する場合はチームで揃えて着用する。アンダーガーメントを着用する場合はユニフォームと同色又は黒か白の物でチームにて色を揃える。全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れてなければならない。「オールインワン」は認められている。【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。

5：交代や出場選手の登録について

- ② 各クォーターの出場選手登録は、TO前に並んでチェックを受けることとする。
- ② 第1クォーターの出場選手は「3分前」、第2・3・4クォーターの出場選手は「前クォーター終了直後」に済ませることとする。

6：新型コロナ対策について

- ① 試合会場入場時にすべての入場者の検温及びコンディショニングチェック表 2020/9/1 改訂版（写し）及び参加承諾書（健康チェックシート選手用 チーム関係者用 両方）の提出を行う。
- ② 試合前、試合後に相手チーム、審判との握手はしない。
- ③ 両ベンチへの挨拶を実施しない。
- ④ 円陣はしない。
- ⑤ 倒れた選手に手を貸さない。
- ⑥ ハイタッチ、抱擁を行わない。
- ⑦ 咳エチケットを守ること。
- ⑧ ボトルやタオルを共有しないこと。
- ⑨ コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離に配慮すること。
- ⑩ ベンチではマスクを着用し、会話を控えること。
- ⑪ 試合終了後、各チームの消毒係りはベンチの消毒、会場係りはTO席及び共有部分の消毒を行う
- ⑫ 今大会は無観客にて行う。
- ⑬ 試合当日2週間前からの健康を徹底し健康チェック表の提出を行う。
- ⑭ 会場へ入場の際はチームで揃って入場し、すべての入場者に検温とコンディショニングチェック表 2020/9/1 改訂版（写し）及び参加承諾書（健康チェックシート選手用 チーム関係者用 両方）の提出を行う。
- ⑮ 自治体や主催者が感染の拡大が懸念されると判断した場合や、大会会場での感染が確認された場合は、その時点で大会は中止する場合がある。
- ⑯ 利用者の把握を提出するため、スタッフ、選手、消毒・記録係の変更は代表者会議以降禁止とする。
- ⑰ 各チームの消毒係が使用する消毒は自チームにて用意する。
- ⑱ コロナ感染防止対策は「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン 第2版〔JBA〕」及び「競技会運営ガイドライン〔NBBA〕」、本紙「競技場の確認事項」に従う。
- ⑲ 体調不良者が判明した時の対応は「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン 第2版〔JBA〕」34ページ以降の記された内容に従う。

7：TOについて

1 1月7日以降の総合体育館でのTOは次のように行う

土曜日日曜日の開催となることから、各週の土曜日を1日目、日曜日を2日目とします。

1日目のTOは2日目の同じ試合順番のチームが行う。(1日目第1試合は2日目の第1試合が行う)

淡色チームはテーブルオフィシャル4名と引率者1名、濃色チームは得点版2名、モッパ―2名と引率者1名とする。

2日目のTOは1日目の同じ試合順番の勝ちチームが行う。(2日目第1試合は1日目の第1試合が行う)

TO引率者が審判及びCOを行う場合もあるため、準備をしておく必要がある。

小学校体育館で行う1回戦でのTOは次のように行う。

代表者会議にて、日程の重複しないチームからTOを割り当てる。

割り当てができない場合は、審判、TO、は自チーム(保護者可)で行い、COは無しとする。

8：その他

- ① チームベンチ内や応援の際における態度やマナーについても、チーム関係者が責任をもって管理指導する
- ② 全ての試合において、TOを行うチームは筆記用具を持参する。
- ③ 喫煙は決められた場所のみとし、車内であっても敷地内は厳禁とする。
- ④ コーチライセンス証は試合前に確認し、試合中は首から下げ、その者だけが立ってコーチングできる。
- ⑤ 大会申込書と登録書は受付時に提出するが、体育館へ提出する用紙にも名前と連絡先の記入をしていただきます。今大会は登録証と名簿の提出は毎回行う。
- ⑥ コンディショニングチェック表 2020/9/1 改訂版(写し)も参加承諾書も毎回提出する。